



平成 29 年 8 月 24 日
九州地方整備局
福岡県
16時00分

『筑後川右岸流域 河川・砂防復旧技術検討委員会』 を設置します

- 平成29年7月九州北部豪雨により、筑後川中流部右岸の支川において、流木や土砂の流出等により激甚な被害が発生しました。
- 特に、赤谷川水系では、多量の土砂や流木により河道が埋塞し、二次災害が発生するおそれが極めて高い状況にあることから、福岡県知事からの要請（7月14日）を受け、権限代行制度により、国による緊急的な河道の確保に向けた土砂等の除去（7月18日）に着手しています。
- また、河川の掘削と連携して流域全体の二次災害の防止を図るため、国直轄により、砂防堰堤等の整備（8月15日）に着手しています。
- 今後、本格的な復旧計画を検討するにあたって、河川工学や砂防学の学識者や国、県、研究機関からなる「筑後川右岸流域 河川・砂防復旧技術検討委員会」を設置し、赤谷川水系をモデル河川として河川事業・砂防事業が連携した復旧の基本的な考え方をとりまとめることとしましたのでお知らせします。
- なお、第1回委員会の開催日程は、決まり次第お知らせいたします。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局

河川部 河川計画課長 坂井 佑介

電話：092-471-6331(代表)

福岡県 県土整備部 河川課 課長技術補佐 吉武 範幸

電話：092-643-3668

砂防課 参事補佐 北野 靖

電話：092-643-3679

平成29年7月九州北部豪雨を踏まえた対策

災害の原因の調査等を進めた上で、再度災害防止・減災の観点から、ハード・ソフト一体となった防災・減災対策プロジェクトを地域と連携しながら推進するとともに、得られた知見を全国に展開。

山地部の河川 (土砂や流木の流出等により甚大な洪水被害が発生した河川:赤谷川等)

<筑後川右岸流域 河川・砂防復旧技術検討委員会>

○目的

土砂や流木の流出等により激甚な被災を受けた筑後川中流部右岸の支川に関し、技術的な観点から検討を行い、河川事業・砂防事業が連携した復旧に必要な基本的な考え方をとりまとめ

○メンバー

学識者、国土技術政策総合研究所、土木研究所、福岡県、九州地方整備局
※オブザーバーとして関係自治体も参加

○検討事項

- ・被災状況、発生流量、発生土砂量、発生流木量等の整理
- ・発生土砂の抑制方策の検討
- ・土砂を考慮した赤谷川の河道整備方策の検討
- ・効果的な河川事業・砂防事業の連携方策の検討
- ・事業を踏まえた地域の安全性確保方策の検討 等

○事務局

九州地方整備局、福岡県

平野部の河川 (洪水氾濫による被害が発生した河川:花月川等)

<流域懇談会等> 必要に応じ学識者の意見を聴取

※大規模氾濫減災協議会においてソフト対策の検討を実施するなど、上記以外の取り組みも実施。



砂防事業
河川事業
等へ反映

九州北部豪雨 防災・減災対策プロジェクト (仮称)